

令和2年度越生町教育委員会事務局 点検評価報告書

～越生町教育振興基本計画の達成に向けて～



一人一台のパソコン端末整備



夏休み中の授業実施
(小・中合同の避難訓練)

越生町教育委員会

令和3年8月

も く じ

	頁
1 はじめに	2
2 点検評価の対象及び方法	2
3 『越生町教育振興基本計画』の基本目標と重点施策	3
4 点検評価調書	4
Ⅰ 学校教育の充実	4
（1）確かな学力と自立する力の育成	4
（2）豊かな情操と健やかな心身の育成	7
（3）学習環境の整備・充実	10
（4）教職員の指導力向上	12
Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上	14
（1）学校運営協議会制度の導入	14
（2）越生町「3つのあ」の推進	15
（3）学校応援団活動の推進	17
（4）家庭教育支援体制の充実	18
（5）児童生徒の安心・安全の確保	20
Ⅲ 生涯学習の推進	22
（1）一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進	22
（2）越生が誇る歴史文化の継承と活用	24
（3）生涯学習施設の環境整備	26
5 教育委員会会議等の活動状況	28
6 （参考資料）令和2年度「家庭生活・家庭学習・3つのあ」 についてのアンケート集計	30

1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と規定されていることから作成しました。

越生町では、教育基本法第17条第2項に基づき『教育振興基本計画』を策定し、平成31年度から令和5年度までの5年間における教育の方向性を示しました。この自己点検評価の項目は、『越生町教育振興基本計画』の達成に向けて実施している各種事業の成果と課題について、点検及び評価としてまとめたものです。

2 点検評価の対象及び方法

『越生町教育振興基本計画』（以下「基本計画」）の具現化に向けて、毎年度、重点施策を策定し、その取組状況を点検評価しました。

点検評価は、以下のように点検評価調書としてまとめました。

基本目標	(基本計画の3つの基本目標)	総合評価
重点施策	(基本目標を達成するための重点施策)	S・A・B・C
重点施策の主な視点	(基本計画に記載されている取組の視点)	
重点施策の内容	(年度において特に重点的に推進する具体的取組)	
指標と実績	(成果と課題の元となる指標と実績)	
成果の概要	(成果の概要の文章記述)	
課題	(課題についての文章記述)	
意見・提言	(学識経験者からの意見・提言)	

点検評価調書のうち、総合評価は「S・A・B・C」とし、区分の目安として

S：期待以上の成果を上げた

A：期待通りの成果を上げた

B：期待通りの成果を上げていない

C：実施していない

としました。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づく、有識者の活用については、以下の学識経験者2名から御意見などをいただきました。

伊藤 明 氏	元公立小学校長、元川越市教育長
原 陽子 氏	元公立小学校長

3 『越生町教育振興基本計画』の基本目標と重点施策

【学校教育の充実】

- 確かな学力と自立する力の育成
- 豊かな情操と健やかな心身の育成
- 学習環境の整備・充実
- 教職員の指導力向上

【家庭・地域の教育力の向上】

- 学校運営協議会制度の導入
- 越生町「3つのあ」の推進
- 学校応援団活動の推進
- 家庭教育支援体制の充実
- 児童生徒の安心・安全の確保

【生涯学習の推進】

- 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進
- 越生が誇る歴史文化の継承と活用
- 生涯学習施設の環境整備

4 点検評価調書

I 学校教育の充実

(1) 確かな学力と自立する力の育成

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(1) 確かな学力と自立する力の育成		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個に応じたきめ細やかな指導 ○ 幼保・小・中のなめらかな接続 ○ 家庭生活・家庭学習の充実 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期制や土曜授業日の特色を最大限に生かして、新学習指導要領に示された授業時間数を十分に確保し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。 ・ 外国語活動や外国語（英語）の指導を強化し、具体的な目標をもって意欲的に学習に取り組めるように指導する。 ・ タブレットP C、電子黒板、大型テレビなどのI C Tを活用した多様な授業を展開し、学習内容の定着と学習意欲の向上を図る。 ・ 人前で堂々とわかりやすく自分の意見を発表する力を育成するため、授業を核として指導の充実を図る。 ・ 町費学習支援員や町独自の35人学級を生かし、学習室等を活用してティーム・ティーチングや少人数指導によるきめ細やかな指導を展開する。 ・ 越生小学校と梅園小学校との合同行事や合同授業の取組を行い、お互いのよさを生かした小小連携を一層推進し、小中学校9年間の一貫した教育を推進する。 ・ 夏休み前の学習成績や「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」などの学習リーフレットを活用し、家庭学習の習慣化を強化する。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	町費の学習支援員等の配置数	小学校：7名 中学校：5名	
	英検の英検受験者等	受験者数：117人 ※ 前年度107人 (小：26人、中：91人) 中3の3級以上の取得率：37.1%	
	小小連携に関わる授業の実施状況	1年～3年生…夏休み中の授業での交流 4年…国語、外国語の合同授業 5年…宿泊学習 6年…修学旅行	

	<p>リーフレットで示す<u>家庭学習時間</u>の目安について、「いつもしている」＋「だいたいしている」の割合</p> <p>※ 家庭学習時間の目安</p> <p>小1・・・15分、小2・・・20分 小3・・・30分、小4・・・40分 小5・・・50分、小6・・・60分 中1・・・60分、中2・・・90分 中3・・・120分</p>	<p>小1・・・84.7%、小2・・・96.2% 小3・・・91.8%、小4・・・80.0% 小5・・・66.2%、小6・・・82.4% 中1・・・63.8%、中2・・・62.2% 中3・・・81.4%、全体 79.0%</p>
<p>成果の概要</p>	<p>○ 個に応じたきめ細やかな指導を充実させるために、引き続き、2学期制や土曜日授業を活用し、習熟度に合わせた指導が行えるよう授業時数を確保した。さらに、新型コロナウイルス感染症関連での臨時休校で実施できなかった授業を補う目的で、夏休み中の授業を18日間実施した。また、町費の学習支援員等の配置に加え、適応指導教室指導員を新規で配置した。町独自の35人学級の編制の対象となった学年は、中学校2年生であった。ICTを活用した多様な授業展開に関しては、一人一人のパソコン端末を導入することができた。授業で有効活用するために研修を実施し、子供たちがパソコンを使って、主体的に学習に取り組めるよう、パソコンに触れる機会を増やすことができた。</p> <p>○ 幼保・小・中のなめらかな接続を行うために、就学支援員会での情報交換、各学校で実施する連絡会、小学校間の連携（小小連携）の授業等を実施した。夏休み中の授業では、越生小学校のトイレ改修の関係で、越生小学校の1年生から3年生と特別支援学級は梅園小学校で、4年生から6年生は越生中学校に登校し、それぞれのクラスでの授業だけでなく、学校間の交流も盛んに行われた。</p> <p>○ 家庭生活・家庭学習の充実を図るために、「家庭生活・家庭学習のすすめ」リーフレット、「より良い学習の進め方」リーフレットを活用し、繰り返し指導を行った。また、保護者会や学級懇談会でも、家庭学習の習慣化について説明し、家庭での協力を依頼した。越生町学力向上推進委員会、越生町生徒指導委員会、越生町体力向上委員会のそれぞれの委員会でアンケート結果を分析し、傾向を捉えることで家庭学習の習慣化の指導に役立てた。</p>	

<p>課題</p>	<p>新型コロナ感染症関連での臨時休校や感染症予防対策により、実施できなかった活動を補うための解決策を今後も検討していく必要がある。一人一台のパソコン端末の活用では、子供たち一人一人の学習内容の定着や学習意欲の向上が図れるよう、学校間等の差が生じないように支援していく。</p>
<p>意見 ・提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じたきめ細かな指導を充実するために、コロナ禍においても、授業時数をしっかりと確保している。町独自の学級編制の実施や町費学習支援員等の配置、ALT の配置タブレット PC の導入などが大変充実しており、児童生徒の学習内容の定着と学習意欲の向上が期待できる。 ・ 小小連携や小中一貫教育の取組は成果を上げているので、今後も継続し、より一層充実していただきたい。 ・ 家庭学習については、時間の目安を設定し、家庭学習の習慣化を図る取組は良いことで、今後も継続していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数指導やきめ細やかな教育の推進を目指して、35 人学級の実施や学習支援員等の多数配置は素晴らしい。現在は児童も家庭も多様化しているので、個に応じた支援や指導を行う事ができ、学力向上に効果的である。 ・ 児童生徒一人一人に、パソコン端末を導入することが出来たのは素晴らしい。子供達が 自在にパソコンを使って学習効果が上がることに期待する。 ・ 確かな学力と自立する力の育成のためには、家庭学習が欠かせない。家庭学習をしっかりすることが、自立する力の育成につながり、ひいては学力の向上につながる。家庭と連携して、家庭学習の充実をさらに推進されることに期待する。

(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成

基本目標	I 学校教育の充実	総合評価
重点施策	(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成	
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育、人権教育の充実 ○ 食育教育の充実 ○ 心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成 	A
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめを許さない意識の醸成と人権を尊重した教育を推進する。 ・ 小中学校9年間を見通した継続的な生徒指導を実践し、不登校ゼロやいじめ解消100%を目指して取り組んでいく。 ・ 不登校やいじめの解消に向け、適応指導教室を活用するとともに、スクールカウンセラー、さわやか相談員及びスクールソーシャルワーカー等、関係諸機関との連携を図り対策を強化する。 ・ 道徳の教科化の趣旨を生かし、道徳的实践を促す指導を充実する。 ・ 越生町ならではの地域の教育力を活用した体験活動に取り組む。 ・ 体力の向上を目指し、たくましさや粘り強さを養う体育活動を推奨する。 ・ 生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図り、学校体育活動を推進する。 ・ 自校給食の特性を生かし、地産地消を進め、地域への関心を高める。 ・ 学校給食を核に家庭や地域と連携して望ましい食習慣の確立を図り、食育を推進する。 	
指標 と 実績	指標	実績
	いじめの解消率	小学校・・・100% 中学校・・・100%
	不登校数等	小学校・・・3名 0.7% ※ 前年度1名 中学校・・・6名 2.5% ※ 前年度18名
	給食の地場産物の活用状況調査 (11月実施)	29.2% ※ R1・・・32.4% H30・・・23.5%
	体力テストの結果	※ 県平均等の比較資料がないため、参考となる実績はなし。

	<p>朝ご飯を毎日食べている割合</p>	<p>小 1・・・78.5%、小 2・・・91.0% 小 3・・・93.2%、小 4・・・88.6% 小 5・・・86.8%、小 6・・・82.4% 中 1・・・85.5%、中 2・・・86.8% 中 3・・・87.2%、全体 86.8%</p>
	<p>リーフレットで示す<u>睡眠時間の目安</u>以上の睡眠について、「いつもとっている」+「だいたいとっている」の割合 ※ 睡眠時間の目安 小 1～小 4・・・9 時間 小 5、小 6・・・8 時間 中 1～中 3・・・7 時間 30 分</p>	<p>小 1・・・73.8%、小 2・・・97.5% 小 3・・・93.2%、小 4・・・80.0% 小 5・・・86.7%、小 6・・・85.3% 中 1・・・75.4%、中 2・・・60.5% 中 3・・・55.8%、全体 78.3%</p>
<p style="text-align: center;">成果の概要</p>	<p>○ 道徳教育、人権教育を充実させるために、各学校とも、道徳授業を核として、学校行事や部活動、その他様々な体験活動に取り組むことができた。特に人権教育については、例年通り人権教育週間を設定して集中的に様々な人権問題について考えることができた。作成した作文は内容が充実しており、令和 2 年度は、越生中の生徒作文が、県の人権作文集「はばたき」に代表で掲載された。また、いじめや不登校等の問題行動の対応としては、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員に加え、新たに適応指導教室指導員を配置し、拡充を図った。</p> <p>○ 食育教育を充実させるために、学校給食を中心に栄養教諭と調理員のチームワークを図って食育教育を進めることができた。特に、2 月の節分の時期に実施した、「鬼退治給食」では、人気キャラクターに因んだ献立を提供したり、寸劇を交えての食育の授業を行ったりと子供たちの好奇心や興味をそそり、主体的に学習に取り組むことができた。また、地場産物の活用状況については、地場産物の活用が進んでいる状況が伺える。</p> <p>○ 心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成のために、学校体育活動を中心に、生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図った。コロナ禍ということもあり、様々な制限が求められる中、中学校では、柔道の授業の代わりに外部指導者を招聘して、身体接触が少ない空手道を取り入れ、体力向上に取り組んだ。生活習慣については、「越生町小中一貫教育」のリーフレットのなかで、睡眠時間の目安を設定することによって、改善のための啓発を行うことができた。新型コロナウイルス感染症の影響で、プール指導をはじめ、様々な体験活動が中止される中、運動会や体育祭、持久走大会等は、練習時間を十分に確保することで感染症対策を講じて実施することができた。</p>	

<p>課題</p>	<p>越生町の不登校児童生徒の状況は、減少しているものの、未だ喫緊の課題となっている。食育の推進については、食に対する理解はとて進んでいることが分かる一方、各学年とも、朝食を食べずに登校する児童・生徒がいるので、今後その理由を把握し、対応する必要がある。学校体育活動では、プール指導が未実施であったが、水辺の危険の指導など、安全に関する指導を実施した。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育や人権教育、様々な体験活動、積極的な生徒指導を通して児童生徒の豊かな心を育てている様子が見えてくる。不登校の解消は、喫緊の課題となっている。関係機関と連携して、不登校ゼロを目指して粘り強く取り組んでいただきたい。 ・ 学校給食の取組が充実しており、成果を上げている。地場産物の活用が進んでいることは良いことである。 ・ 学力と同様、小中一貫の教育を今後も継続していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症関連での臨時休校による不登校児童生徒の増加が、多くの市町村で課題となっている。これからも粘り強く、子どもや家庭に声をかけて、支援を続けてほしい ・ 家庭の学習習慣や生活習慣の定着のために、越生町小中一貫教育のリーフレットや啓発は続けていただきたい。 ・ 給食を通しての食育の充実が良い。

(3) 学習環境の整備・充実

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(3) 学習環境の整備・充実		S
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な環境整備 ○ 教育機器の整備・充実 ○ 学校図書館の整備 ○ 地域教材の活用 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用した情報活用能力の育成のための環境を計画的に整備する。 ・ 安全・安心で快適な学校を目指し、施設・設備の計画的な改修を図る。 ・ 各地区の育成会等と連携した長期休業中の学習の場の設定や充実を図る。 ・ 少子化への対応や英語教育の改革などの学習指導要領改訂に向け、計画的に準備していく。 ・ 学校図書館と町立図書館の連携が図れるように整備していく。 		
指標と実績	指標	実績	
	令和2年度の主な工事等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内ネットワークの整備 (3校) ・ パソコン端末の整備700台 (3校) ・ 体育館放送システム改修 (越生小、梅園小) ・ 校舎及び体育館トイレ改修事業 (越生小) ・ 給湯室ガス供給設備移設工事(梅園小) ・ 上グラウンド表土改良工事 (越生中) ・ 調理場エアコン設置 (越生中) ・ 上グラウンド側外トイレ解体(越生中) 	
	越生町子ども未来大学の実施状況	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止	
	サマースクールの実施状況	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止	
成果の概要	<p>○ 安全・安心な環境整備を行うために、計画的な改修等を行った。越生小学校トイレ大規模改造工事では、建設以来42年が経過していた校舎と体育館のトイレをすべて洋式に改修し、快適に使用できるトイレとなった。越生中学校の上グラウンドの改修工事では、表土を削ったのち、砂を追加しその後、レーキで攪拌して以前より水はけのよいグラウンドとなった。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、速やかに、マスクや消毒液、非接触型温度計、大型送風機などの感染症対策となる備品等を整備した。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育機器の整備・充実を図るために、新学習指導要領の完全実施に向けて、計画的に教師用の指導書やデジタル教科書等の整備を行った。ICTの環境整備については、国の指針（GIGAスクール構想）が前倒しされたことにより、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、高速大容量校内LANの整備及び子供たち一人一台分とクラス数分を合わせて700台のパソコン端末を整備することができた。 ○ 学校図書館の整備を図るために、学校図書館と町立図書館の連携を図り、町立図書館から各学校へ図書の貸し出しを行った。 ○ 地域教材の活用を図るために、例年、町内の5ヶ所を設定し、地域の育成会や大学生に講師を依頼して実施していたサマースクールや、越生町ならではの教育資源を活用した学びの場である越生子ども未来大学は、夏休み中の授業を設定したため中止とした。
<p style="text-align: center;">課題</p>	<p>一人一台のパソコン端末を整備することができたが、今後の入れ替え時期の財源確保について財政部局と検討していく必要がある。今後も、各校との情報交換や実態把握を適切に行い、教育委員会施策や予算との兼ね合いから施設の改修計画を検討していく。また、貴重な学習の場であったサマースクール、子ども未来大学は実施できなかったが、地域教材の活用が図られるように、今後も準備を継続していく。</p>
<p style="text-align: center;">意見 ・提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境の整備は他市町村よりも充実していると思われる。今後も計画的に進めていただきたい。 ・ ICTの整備については、タブレットPCを導入して整備されたので、有効活用をお願いしたい。 ・ 学校図書館と町立図書館の連携は良いことである。読書好きの児童生徒を増やして欲しい。 ・ サマースクール、子ども未来大学の取組は、素晴らしい取組である。今後も地域の協力を得て、継続していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 越生小学校のトイレ大規模改造工事や越生中学校のグラウンド改修工事など、施設設備の改修が計画的に行われているのは喜ばしい。近年はいろいろな自然災害が懸念されている。子供の安全確保のために、環境整備をお願いしたい。 ・ パソコンだけでなく、校内LANが整備されたのは素晴らしい。リモート授業等更なる活用が期待できる。

(4) 教職員の指導力向上

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(4) 教職員の指導力向上		B
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の充実 ○ 町費職員等の活用促進 ○ 小中一貫教育の推進 ○ 人事交流の活性化 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び等の視点を取り入れた授業が実践できる指導力を身に付ける。 ・ ICTを活用した授業を実践するための研修を充実する。 ・ 越生小学校、梅園小学校、越生中学校の3校が、「知・徳・体」の9年間を見通した小中一貫教育を推進するために連携を図る。 ・ 全教職員を対象に3校合同研修会を実施し、テーマに沿った研修を実施する。 		
指標と実績	指標	実績	
	学校指導訪問の実施回数	小学校・・・各10回 中学校・・・6回	
	ICT活用に関わる研修の実施回数	小学校・・・4回 中学校・・・2回	
	小中一貫教育に関わる委員会（学力向上推進委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会）の実施回数	年間9回	
	3校合同研修会の実施状況	夏休み中授業のため未実施	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の充実を図るために、梅園小学校では、西部教育事務所より、越生小学校、越生中学校では、西部教育事務所及び近隣市町より、指導者を招聘し、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び等の視点を取り入れた授業展開についての授業研究や校内研修を実施した。また、一人一台に整備されたパソコン端末の有効活用するために、教職員のICT活用能力を高める研修会の実施及び、校内指導体制の充実を図るためのICT活用委員会を開催した。コロナ禍において、感染症対策を講じた上での指導方法の事例提供を行った。 ○ 町費職員等の活用促進を図るために、発達段階に応じて、習熟度に応じた指導など様々な学習形態が可能となるよう、各学校のニーズに応じて、小学校に7名、中学校3名、学習支援員等を配置することができた。 		

	<p>○ 小中一貫教育の推進を図るために、小中一貫教育に関わる委員会（学力向上推進委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会）において、小学校、中学校での学習指導、生徒指導等に連続性を持たせるよう「越生町小中一貫教育のリーフレット」を活用して、目指す越生町の子供像を共有した。リーフレットで示す「家庭学習時間の目安」、「睡眠時間の目安」をアンケート結果から分析し、改善のための啓発を行うことができた。また、越生小学校のトイレ改修の関係で、越生小学校の児童が梅園小学校、越生中学校において授業を行った際には、体育、音楽、社会などの教科で中学校の先生が小学生に指導する機会を多く設けることができた。</p> <p>○ 人事交流の活性化を図るために、入間北部教育委員会連絡協議会を中心に情報交換を行い、越生町の課題に即した積極的な人事異動を実現した。</p>
<p>課題</p>	<p>I C Tに関する研修会では、すべての教職員が対象であったが活用能力の差があった。また、コロナ禍において、越生町の全職員対象の研修会の中止など、教職員に周知する機会が減少した。特に県の研修会の中止等、様々な制限がある中、初任者をはじめ、経験年数の少ない教職員向け研修会の充実が課題となっている。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で制限がある中、教職員の指導力向上のため、研修がしっかりと行われていることは良いことである。研修により、児童生徒の学力や体力、豊かな人間性の育成に大きな成果を上げることが期待される。今後も教職員の指導力向上のため、学校での地道な実践と、教育委員会による指導支援に努めていただきたい。 ・ 小中一貫教育の推進を図るために、学力向上委員会 生徒指導委員会、体力向上推進委員会が機能している様子が見える。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱心に研修されている。パソコン端末を有効に活用出来るよう、研修を進めていただきたい。

Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上

(1) 学校運営協議会制度の導入

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(1) 学校運営協議会制度の導入		A
重点施策の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・地域の連携・協働の強化 ○ 小中一貫教育の推進 		
重点施策の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの取組を継承しつつ、学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を実現するための組織づくりに努める。 ・ P T A活動を支援し、保護者と教職員の連携のとれた活動を推進する。 		
指標と 実績	指標	実績	
	学校運営協議会の実施状況	<p>越生小学校 6/13、11/7、3/2・・・計3回 (内3/2は書面開催)</p> <p>梅園小学校 6/24、11/27、2/26・・・計3回 (内2/26は書面開催)</p> <p>越生中学校 7/16、10/31、2/19・・・計3回 (内2/19は書面開催)</p>	
成果の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・地域の連携・協働の強化を図るために、本格導入となって2年目の学校運営協議会を開催し、学校行事や授業の参観、学校評価の結果を通して地域、保護者の立場からの様々な意見を聴取することができた。各校は、コロナ禍での学校運営について意見をいただくことで、地域や保護者からの理解を得ながら学校運営を行うことができた。 ○ 小中一貫教育の推進を図るために、越生町小中学校連合P T Aの活動を支援し、意見要望を聴取し、改善に向け取り組むことができた。 		
課題	<p>学校運営協議会は、本格導入をして2年目の活動であったが、今後も学校・地域の連携強化が図られるよう、協議内容の充実を検討していく。</p>		
意見・ 提言	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会制度が本格導入されて2年目。校長は、委員から様々な意見をいただき、学校経営をより充実させることが大切である。越生町の実態に合った学校運営協議会制度にしていただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・家庭・地域が一体となった教育の実現のために、各学校で色々な意見交換がおこなわれている。 		

(2) 越生町「3つの㊦」の推進

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(2) 越生町「3つの㊦」の推進 ※ 3つの㊦：あいさつ、あしもと、あとしまつ		A
重点施策 の 主な視点	○ 大人が手本を示すまちづくり ○ 発達の段階に即した「3つの㊦」の推進 ○ 幼保・小・中学校の連携強化		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> 越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの㊦」のリーフレットを活用し、子供の発達の段階に応じて取り組む。 学校・家庭・地域が連携し、様々な機会を捉えて「3つの㊦」を励行する。 		
指標 と 実績	指標		実績
	3つの㊦「あいさつ」について、「しっかりできている」＋「できている」の割合		小1・・・87.7%、小2・・・93.6% 小3・・・94.5%、小4・・・95.7% 小5・・・92.6%、小6・・・94.1% 中1・・・100%、中2・・・98.7% 中3・・・100%、 全体 95.4%
	3つの㊦「あしもと」について、「しっかりできている」＋「できている」の割合		小1・・・93.8%、小2・・・87.2% 小3・・・90.4%、小4・・・88.5% 小5・・・89.7%、小6・・・95.6% 中1・・・94.2%、中2・・・94.7% 中3・・・100%、 全体 92.8%
	3つの㊦「あとしまつ」について、「しっかりできている」＋「できている」の割合		小1・・・83.1%、小2・・・92.3% 小3・・・97.2%、小4・・・88.6% 小5・・・91.1%、小6・・・94.1% 中1・・・88.4%、中2・・・97.4% 中3・・・98.8%、 全体 92.6%

<p>成果 の 概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大人が手本を示すまちづくりを推進するために、越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの⊕」のポスターや、家庭学習・家庭生活のすすめリーフレットの活用について、保護者会等で説明を行った。 ○ 発達の段階に即した「3つの⊕」の推進するために、平成26年度の越生町子ども議会で議決した「越生町3つの⊕条例」や学年別に作成した「家庭学習・家庭生活のすすめリーフレット」を活用して推進した。 ○ 幼保・小・中学校の連携強化を図るために、町内の幼稚園、保育園の新入園児の保護者へ「3つの⊕」のポスターを配布し、「3つの⊕」の啓発を行った。
<p>課題</p>	<p>平成17年度より、3つの⊕運動が展開され、越生町教育委員会では、様々な啓発活動を行ってきた。越生町の3つの⊕は、日頃の生活の中で心がける基本的な事項である。すべての子供たちが当たり前のように実践できるよう継続して啓発を行っていく。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「3つの⊕」の取組は、全体的に高い達成率を示している。町として長年継続して取り組んでいる成果と言える。日常生活の中で基本的事項である越生町「3つの⊕」の取組を今後も学校 家庭・地域と連携し、推進していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの結果からも、「あいさつ」95.4%、「あしもと」92.8%、「あとかたづけ」92.6%という高い結果が出ている。継続は力なりと言うが、是非続けていただきたい。

(3) 学校応援団活動の推進

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(3) 学校応援団活動の推進		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校のニーズに応える学校応援団活動の支援 ○ 越生町の人的資源の活用 ○ 児童・生徒の体験活動等の充実 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアとして学校への協力・支援を行う保護者・地域の力を応援する。 ・ 学校応援団活動を充実させ、登下校の安全確保や学習のための環境整備を図り、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	学校応援団の推進に係る教育委員会としての取組（令和2年度学校応援団の推進に係る調査より）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会・教頭会などでの情報提供 ・ 学校応援団推進のための、関係者会議を実施 ・ 広報誌などによる普及・啓発 	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校のニーズに応える学校応援団活動の支援を行うために、意見交換会を実施し、要望を聴取した。 ○ 越生町の人的資源の活用を図るために、総務課とも連携し、登下校の見守り活動を充実させた。特に、越生小学校のトイレ改修の関係で、越生小学校の児童が梅園小学校、越生中学校に移動する際に、バス等での送迎を地域の人材に依頼したり、登下校の見守りを強化したりした。 ○ 児童・生徒の体験活動等の充実を図るために、梅もぎ、梅干しづくり、学校ファームの活動を支援する人材の紹介や体験活動の協力を行った。 		
課題	<p>学校・家庭・地域が一体となった教育を推進するために、今後も学校のニーズに合わせた連携の支援を行う。また、今年2年目となる学校運営協議会と連携した取組を充実させる。</p>		
意見 ・ 提言	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校では、学習や体験活動 環境整備の支援など学校応援団活動が、家庭や地域の協力のもと盛んに行われている。登下校の見守り活動もよく行われている。人的、物的、関係者会議などの支援を通して、学校応援団活動を推進していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校応援団も素晴らしい活動である。学校運営協議会と連携した取組、学校のニーズに合わせた取組を図りたい。 		

(4) 家庭教育支援体制の充実

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(4) 家庭教育支援体制の充実		B
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の教育力向上への支援 ○ 「親の学習」の推進 ○ 教育に関する相談体制の充実 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレットを活用し、学校と家庭が協力して児童生徒の基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせる。 ・ 家庭教育アドバイザーの活用、民生・児童委員との連携、保護者会の工夫等により、発達の段階に応じた「親の学習」の機会を増やし推進する。 ・ 越生子ども未来大学及びサマースクールを実施し、地域の教育力を生かした越生町ならではの学びの場をさらに充実させる。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	越生子ども未来大学及びサマースクールの実施状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
	スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問回数	30回	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の教育力向上への支援を行うために、リーフレットを使って保護者会や学級懇談会で説明したり、家庭生活・家庭学習に関するアンケートを分析したりして、望ましい生活習慣について示した。 ○ 「親の学習」の推進を図るために、学校に家庭教育アドバイザー派遣についての紹介や就学時検診の際、小学校で実施している家庭教育学級開催の支援を行った。 ○ 教育に関する相談体制の充実を図るために、スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭への支援を行った。 		

<p>課題</p>	<p>子供たちの生活習慣について、学校・家庭・地域との共通理解を図ることが大切である。中学校では「保育園実習」を計画しているため、「親の学習」のための家庭教育アドバイザーの派遣がなくなった。越生町子ども未来大学やサマースクールの中止を補うための施策を充実させていく。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の原点は家庭にあるわけであるが、保護者の価値観が多様化している。今後、ますます家庭教育支援体制の充実を図る必要がある。 ・ 「家庭生活・家庭学習のすすめ」、「より良い学習の進め方」のリーフレットの活用は、学校と家庭が協力して行うことにより、成果を上げている。 ・ スクールソーシャルワーカーの配置により、家庭への支援効果を上げている。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な価値観、多様な教育方針など、子供も家庭も多様化している。保護者には、常に情報発信して、学校としての考え、教育委員会としての考えを継続して発信していく必要がある。「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレットは、基本的な生活習慣や家庭学習習慣の定着のために、有効である。

(5) 安全・安心な町づくり

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(5) 安全・安心な町づくり		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の安全・安心な登校・下校への支援 ○ 学校・家庭・地域の連携強化 ○ 被害を未然に防ぐ体制づくり 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学の安全のため、中学生の自転車通学者はヘルメットを着用する。また、小・中学生とも家庭で自転車に乗る際にも、ヘルメットを着用することを奨励する。 ・ 通学路の危険箇所を点検し、関係各課と連携を図りながら安全を確保する。 ・ 児童生徒に情報モラルを身に付けさせ、適切に活用できるようにするための学習活動を充実する。 ・ スクールガード（見守り隊）の協力や子ども110番の家との連携を図り児童生徒の安全を図る。 ・ 学校ごとに活用できる「一斉メール配信」を活用し、防犯情報等を適時適切に保護者に周知できるようにする。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	スクールガードリーダー配置 人・活動回数	越生小学校・・・1名・273回 梅園小学校・・・1名・380回	
	子ども110番の家の指定状況	112軒	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の安全・安心な登校・下校への支援を行うために、スクールガードリーダーを委嘱している。自転車用ヘルメットを小学校卒業生に贈呈し、中学校での自転車通学の安全を確保した。 ○ 学校・家庭・地域の連携強化を図るために、総務課と連携して、交通指導員や見守り隊等、地域の登下校等を見守る方々に協力を仰いだ。 ○ 被害を未然に防ぐ体制づくりを図るために、PTAや学校から要望を募り、通学路の危険箇所を把握している。把握した箇所は、関係各課と連携を図りながら改善を図り、安全が確保できるようにしている。また、防犯情報や雷などの天気の急変等を適時適切に保護者に周知できるよう、「一斉メール配信」を活用している。 		

<p>課題</p>	<p>通学路の危険箇所を関係課と連携して、適切に改善していく。ネットに潜む危険を回避するために、情報モラルを身につけることは、喫緊の課題となっている。学校・家庭で連携して取り組むだけでなく、効果的な指導方法等を研究していく。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒が安全に登下校できるために、保護者・地域・スクールガードリーダーなどの見守り活動や「子ども 110 番の家」は効果的である。 ・ 児童生徒に情報モラルが身に付くよう、引き続き学校・家庭と連携して取り組んでいただきたい。 ・ 「緊急時連絡メール配信サービス」が整備され、効果的に活用されている。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達の周りには、事故・不審者・災害など、いろいろな危険がある。交通指導員、スクールガードリーダー、学校応援団、保護者など本当に多くの方々の努力により、子ども達の安全が確保されている。

Ⅲ 生涯学習の推進

(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進

基本目標	Ⅲ 生涯学習の推進		総合評価
重点施策	(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進		B
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化、芸術活動によるコミュニティの推進 ○ スポーツを通じた健康づくりの推進 ○ 文化・スポーツ団体への活動支援 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館等サークル団体の活動を支援するとともに、若年層の利用促進を図る。 ・ 手軽にできるスポーツを通じた健康づくりを推進する。 ・ サークル活動を通じてのボランティア活動を推進する。 		
指標と実績	指標	実績	
	公民館等の登録団体数	148団体	
	主要事業の参加者数	越生町文化祭：中止 子どもおはやし大会：中止 生涯学習町民のつどい：中止 町民体育祭：中止 おごせ梅の里コンサート：中止 七つの祝い：43人 越生町人権問題講演会：101人 新成人のつどい：88人 クリーンハイク：中止	
	体育施設の利用者数	21,072人	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化、芸術活動によるコミュニティの推進を図るために、公民館等を使用する登録団体のうち、町民が過半数以上で構成する団体については、施設使用料を原則免除し、サークル活動の活性化を図った。 ○ スポーツを通じた健康づくりを推進するために、各地区で実施している朝のラジオ体操へ200日以上参加された方を対象に表彰をし、健康維持の促進に努めた。 		

	<p>○ 文化・スポーツ団体への活動を支援するために、コロナ禍でも町民が安心してサークル活動が楽しめるよう、施設の利用を制限し、利用者全員の体温を記入する「利用者名簿」の提出を求めるなど、安心・安全に努めた。</p>
<p>課題</p>	<p>公民館等で活動するサークルは、高齢化により会員数が減少する傾向にある。今後もサークル活動が、継続的にできるよう施設の環境整備などを通して、生涯学習の推進に努めていく必要がある。</p> <p>また、スポーツを通じた健康づくりについては、社会構造の変化により年齢と体力に応じた事業を進める必要がある。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人生を心豊かに過ごすために、「一芸・一スポーツ・一ボランティア」の合言葉は、わかりやすく、実践してみたい言葉として定着している。 ・ 施設使用料の免除イベント開催、教室・講座の開催、文化・スポーツ団体への活動支援などを通して、生涯学習が推進されている。 ・ 少子高齢化により活動への参加の減少が予測される。今後、イベントや公民館活動スポーツ活動に手軽に参加できるよう、時代のニーズにあった施策が望まれる。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症関連で、事業が中止になったのは残念であるが、止むを得ない。 ・ 「一芸・一スポーツ・一ボランティア」を合い言葉に生涯学習が推進できるように、各年齢層の要望に応えた事業の充実に期待する。

(2) 越生町が誇る歴史文化の継承と活用

基本目標	Ⅲ 生涯学習の推進		総合評価
重点施策	(2) 越生が誇る歴史文化の継承と活用		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハイキングのまちと連携した文化財の活用 ○ 郷土の偉人を生かした取組の推進 ○ 文化財の計画的な保護と継承 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを利用し、「ハイキングのまちづくり」と連携した文化財の活用を図る。 ・ 郷土ゆかりの人物を活用し、郷土意識の高揚を図る。 ・ 文化財の現状を把握し、実態に即した計画的な保存策を講じる。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	指定・登録制度を活用した文化財の保護	「星野家住宅主屋及び袖蔵」「世界無名戦士之墓」登録有形文化財登録（令和2年4月3日付け新登録）	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史・文化財解説板の維持管理及び、解説板にQRコードを貼り付けることにより、町のホームページと連携することができた。 ○ 渋沢平九郎の案内板・関連史跡指導標等を整備した。また、太田道灌像を購入し、越生駅西口広場に設置した。 ○ 県指定天然記念物「上谷の大クス」の保護、町指定文化財「黒岩町山車」修理、「五大尊写し霊場」の維持管理、指定文化財所有管理者・獅子舞保存会への補助を行った。 		
課題	<p>本町には、さまざまな有形無形の文化財があり、先人から受け継いだこれらの掛け替えのない自然・歴史文化遺産を後世に伝えることは私たちの責務である。</p> <p>しかしながら、有形文化財の防火防犯、史跡名勝天然記念物の現状維持、無形民俗文化財の保存継承など、いずれの文化財も安閑としてられない状況に置かれている。所有・管理者や保存団体と連携して、計画的に適切な施策を講じることが求められている。</p>		

**意見
・ 提言**

A氏

- ・ 「ハイキングのまちづくり」との連携について、文化財解説板、標柱の整備や ICT を活用した文化財の情報発信は、町民の郷土に対する理解と関心を深めるとともに、町を訪れる人に文化財を知っていただく良い機会となっている。
- ・ 町内には有形無形の文化財が沢山ある。指定文化財の保護に補助金の交付、修復、環境整備、普及・啓発、ゆかりの人物を通した郷土意識の涵養など、様々な取組を行っている。今後も文化財保護行政を推進していただきたい。

B氏

- ・ 越生町には、多くの文化財があり、その保護や整備が行われていることは素晴らしい。目につくところに解説版を設置し QR コードを貼り付ける取組みも良い。これからも、文化財の保護や整備を継続し、後世に伝えて行くことが重要である。

(3) 生涯学習施設の環境整備

基本目標	Ⅲ 生涯学習の推進		総合評価
重点施策	(3) 生涯学習施設の環境整備		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅園コミュニティ館の活性化 ○ 公民館、スポーツ施設の環境整備 ○ 図書館サービスの充実 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梅園コミュニティ館を地域に根差した活動拠点として利用を促進する。 ・ 町立図書館の蔵書を有効活用し、小中学校図書室との連携を充実させる。 ・ 読書手帳による子供たちの図書館利用と読書活動を促進する。 ・ 施設の老朽化に対応した計画的な維持管理に努める。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	公民館等の利用者数	中央公民館： 3, 755人 やまぶき公民館： 7, 297人 ゆうがく館： 472人 梅園コミュニティ館： 813人	
	図書館の利用実績	利用延べ人数： 10, 292人 図書貸出点数： 39, 027点 町民一人当たりの 貸出点数： 3.1点 蔵書点数： 7.6点	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度から梅園コミュニティ館の館内に図書室（梅園分室）を開室し、梅園地区の読書環境の整備と読書普及に努めた。 ○ 中央公民館や図書館等で使用する屋内消火栓ポンプを更新したことにより、火災時の安全性を確保することができた。 ○ 児童生徒の読書環境の充実と図書館の蔵書の有効活用を図るため、町立図書館の図書を小中学校図書室に定期的に配本して貸し出しを行った。 		

<p>課題</p>	<p>各施設とも築30年以上経過しているため、大規模改修や設備の更新時期が到来している。災害時の指定避難場所でもあることから、安全性の確保を含めた早期の対応をする必要がある。</p> <p>また、図書館の利用促進として、越生町立図書館梅園分室の運営、新規事業の開催等のサービスの充実により、一定の成果が挙げられた。利用者、貸出数を維持していくためには、引き続き、図書等資料の充実とともに、新たなサービスにより利用促進に努めていく必要がある。</p>
<p>意見 ・提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館やスポーツ施設の老朽化に対応した改修や設備の更新を計画的に行っていただきたい。 ・ 図書館では、梅園分室の運営や小中学校図書館との連携、新規事業の開催等のサービスの充実による利用促進に努め、一定の成果を上げている。今後も利用者、貸出数の維持・向上に向け、図書等の充実に努めていただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年は自然災害が懸念される事が多くなっている。社会教育施設は災害時の指定避難場所になっており、各施設の安全性の確保は重要である。

5 教育委員会会議等の活動状況

(1) 委員会構成

教育長	教育長 職務代理者	委員	委員	委員
吉澤 勝	原口 仁	竹内 晴美	内藤 久美子	仲 晃良

(2) 会議等の開催

教育委員会会議は、定例会を7回開催し、議案等を審議いたしました。また、首長部局が事務局となる「越生町総合教育会議」を1回開催いたしました。

会議・開催日	議案等
令和2年第3回 ・6月10日	議案第 9号 越生町立学校県費負担教職員の職務に専念する義務の特例に関する規則の一部を改正する規則について 議案第10号 越生町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について 議案第11号 「独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済掛金徴収規則」の制定について 承認第 4号 「教育要覧おごせ」令和2年度版の発行について 承認第 5号 越生町教育委員会の後援名義使用について 報告第 6号 越生町スポーツ推進委員の委嘱について 報告第 7号 「越生町教職員の業務量の適切な管理等に関する規則」を制定について 報告第 8号 令和2年第2回(6月)越生町議会定例会について
令和2年第4回 ・7月28日	協議第 3号 令和元年度越生町教育委員会事務局点検評価報告書について 協議第 4号 令和3年度使用教科書の第11採択地区教科用図書採択協議会選定(案)について 報告第13号 学校教育関係の新型コロナウイルス感染症への対応について 報告第14号 社会教育関係の新型コロナウイルス感染症への対応について 報告第15号 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

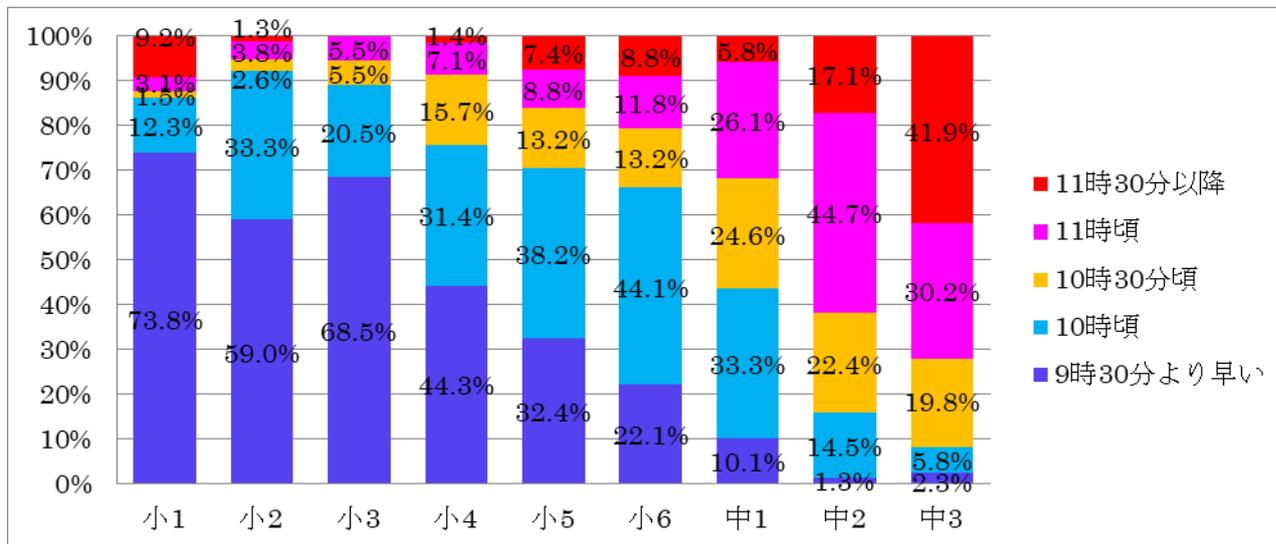
令和2年第5回 ・8月20日	議案第12号 令和3年度使用中学校用教科用図書の採択について 議案第13号 令和元年度(平成31年度)越生町教育委員会事務局点検評価報告書について 議案第14号 令和2年度越生町教育委員会教育費補正予算について
令和2年第6回 ・9月23日	議案第15号 令和3年度当初越生町教職員人事異動方針について 承認第6号 越生町教育委員会の後援名義使用について 報告第16号 令和2年第3回(9月)越生町議会定例会について
令和2年第7回 ・11月11日	承認第7号 越生町教育委員会の後援名義使用について 報告第17号 越生町教育委員会の後援名義使用について
総合教育会議 ・11月11日	・ 防災と学校施設について ・ 越生町の児童生徒の推移について
令和3年第1回 ・2月10日	議案第1号 越生町立小・中学校管理職人事異動案について 議案第2号 令和2年度越生町教育委員会教育費補正予算について 議案第3号 令和3年度当初越生町教育委員会教育費予算について 協議第1号 令和3年度越生町教育行政重点施策について 承認第1号 越生町教育委員会の後援名義使用について 承認第2号 越生町教育委員会の後援名義使用について 報告第1号 越生町における「特別支援教育に関する推進計画」について 報告第2号 越生町教育委員会の後援名義使用について
令和3年第2回 ・3月17日	議案第4号 令和3年度越生町教育行政重点施策について 議案第5号 越生町立中学校部活動指導員に関する規則について 報告第3号 令和3年第1回(3月)越生町議会定例会について 報告第4号 就学援助費認定状況について

6 (参考資料) 令和2年度「家庭生活・家庭学習・3つの^あ」についての

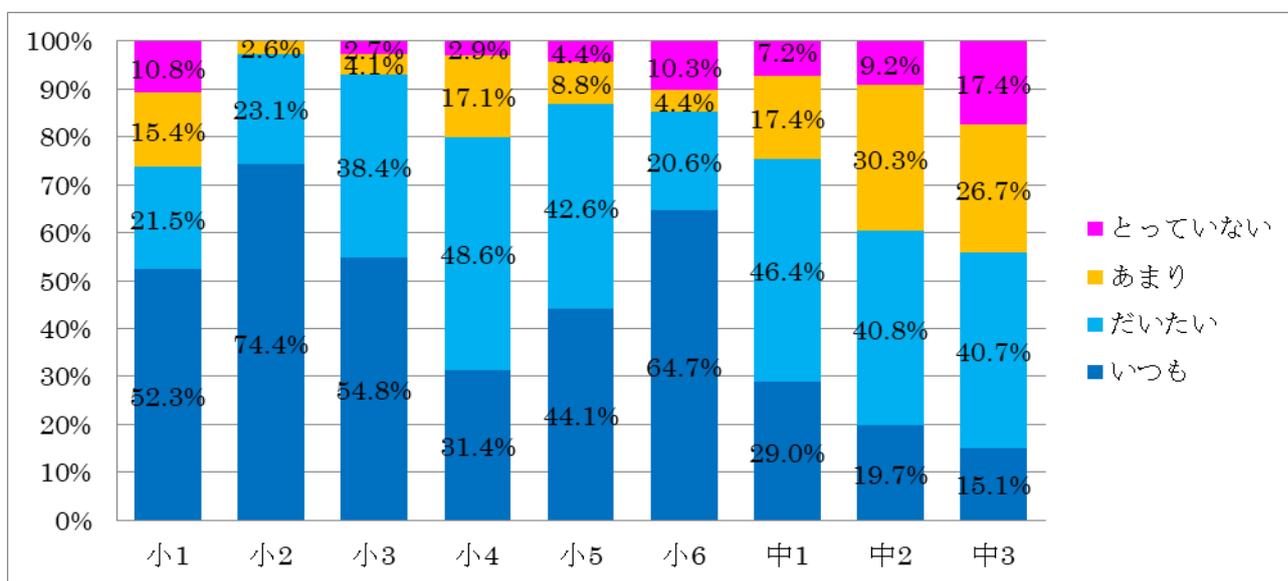
アンケート集計

1 「早寝」「早起き」「朝ご飯」について

① 学校のある日は、何時ごろに寝ていますか。



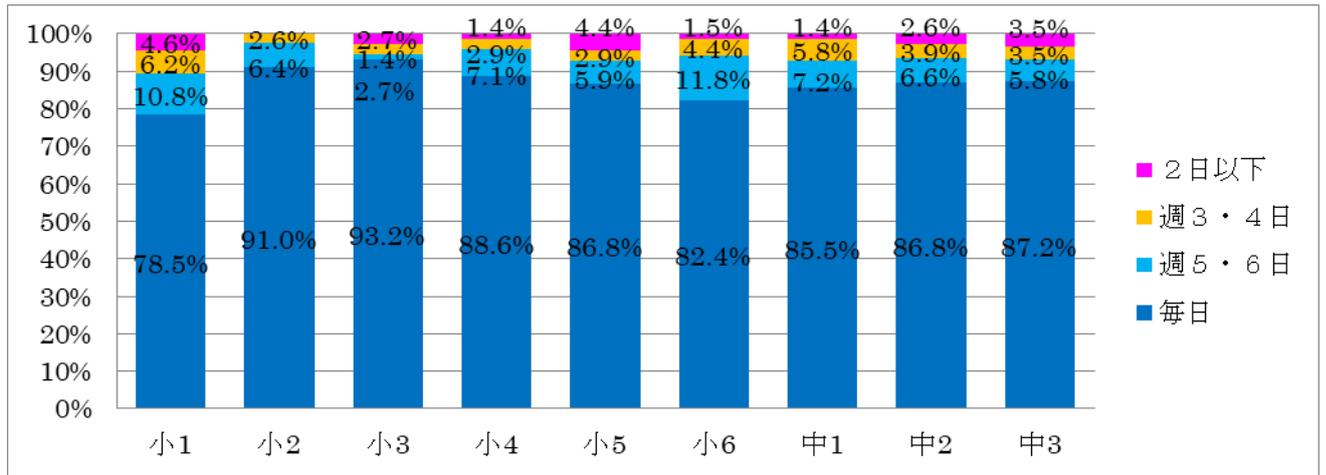
② 学校のある日は、「家庭生活・家庭学習のすすめ」で示した睡眠時間のめやす以上睡眠をとっていますか。



※ 各学年の睡眠のめやす

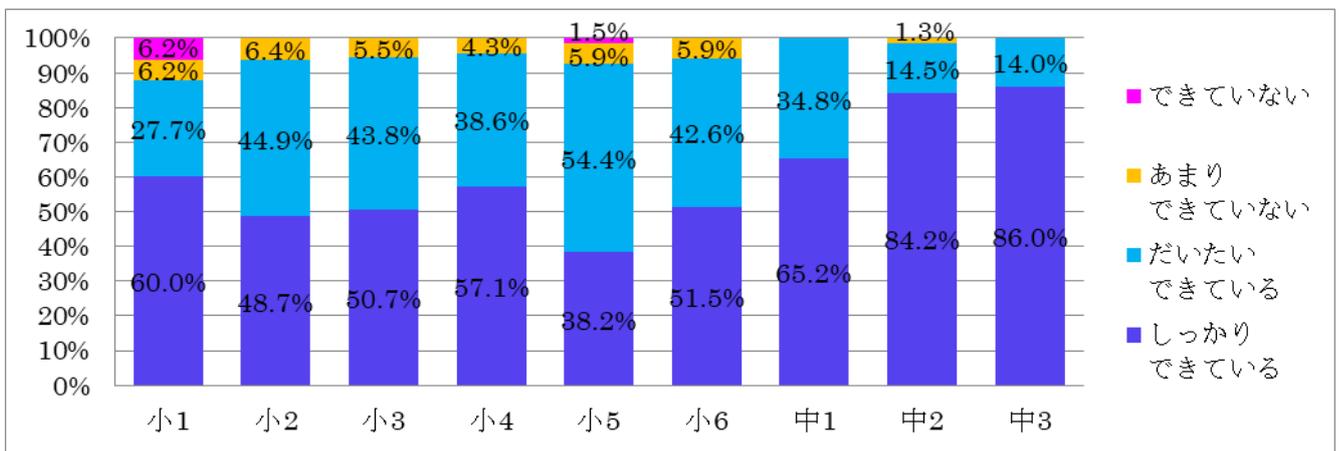
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9時間				8時間		7時間30分		

③ 「朝ご飯」をしっかりと食べていますか。

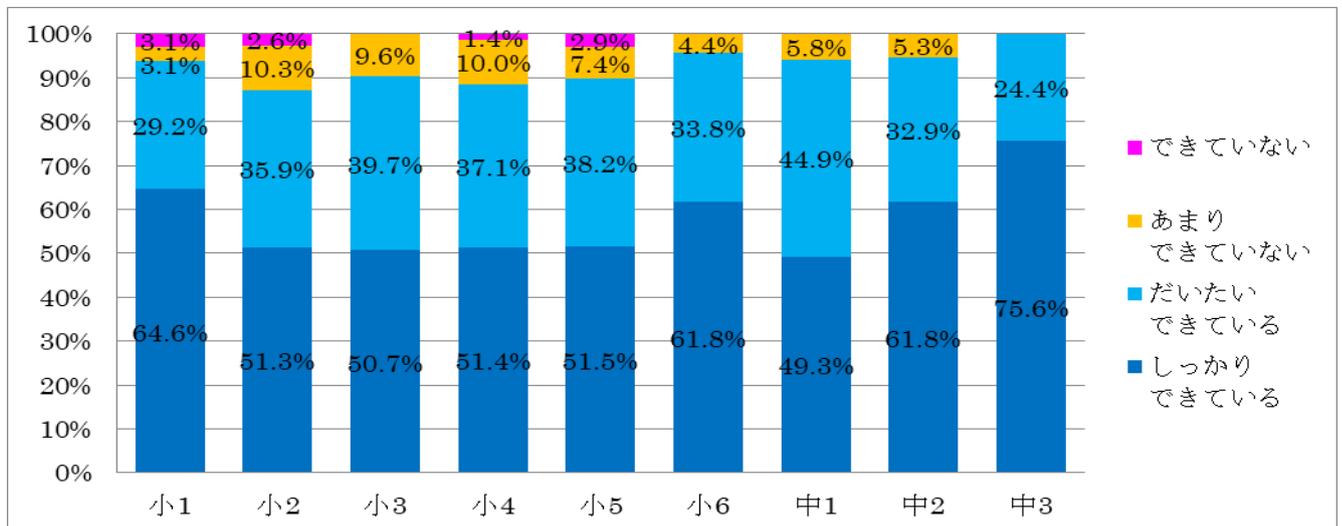


② 「3つの⓪」について

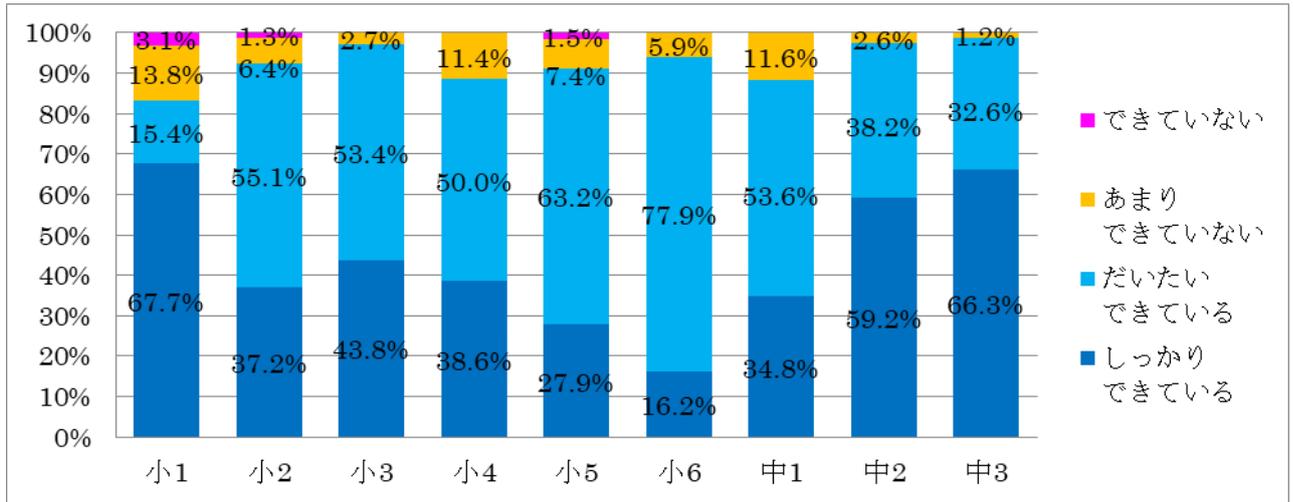
① 【あいさつ】心をこめた「あいさつ」をし、友達と仲良く生活できていますか。



② 【あしもと】はきものやロッカーの整理整頓をし、けじめある生活をしていすか。



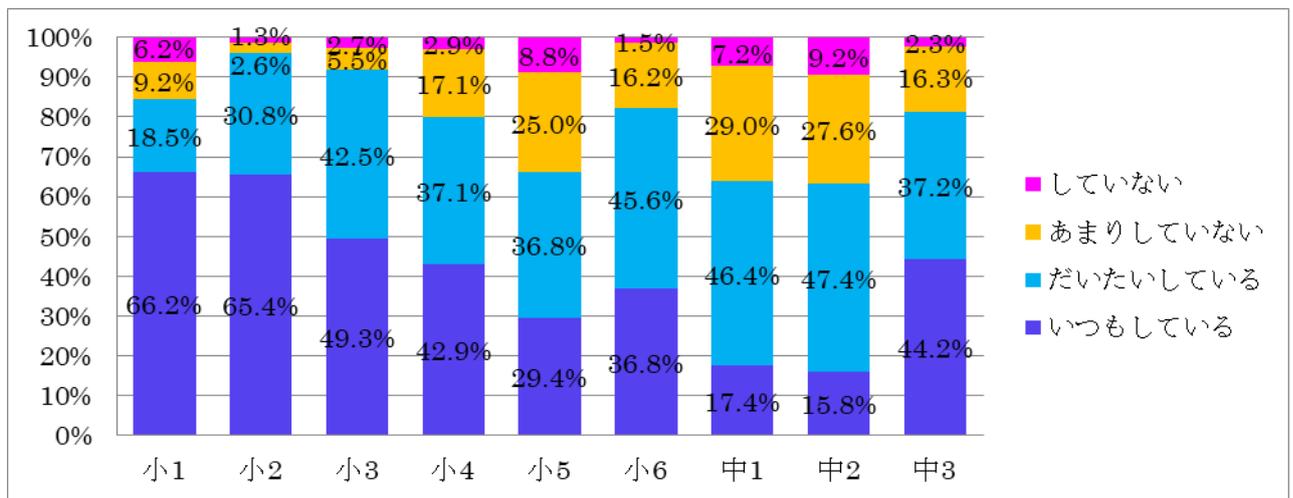
③【あとしまつ】何事も最後までやりとげ、責任もった行動をしていますか。



③ 家で、毎日の勉強について

① 「家庭生活・家庭学習のすすめ」で示した学習のめやす以上学習に取り組んでいますか。

※ 宿題・塾・習い事を含む

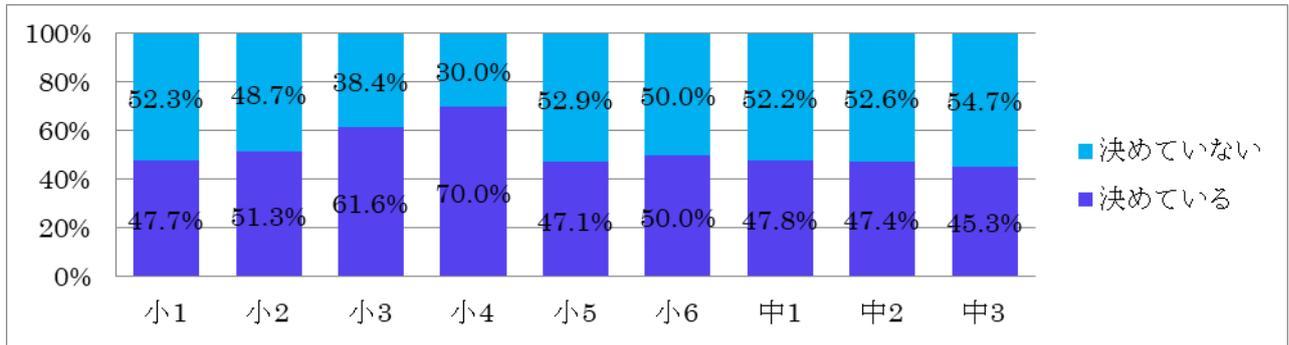


※ 各学年の学習のめやす

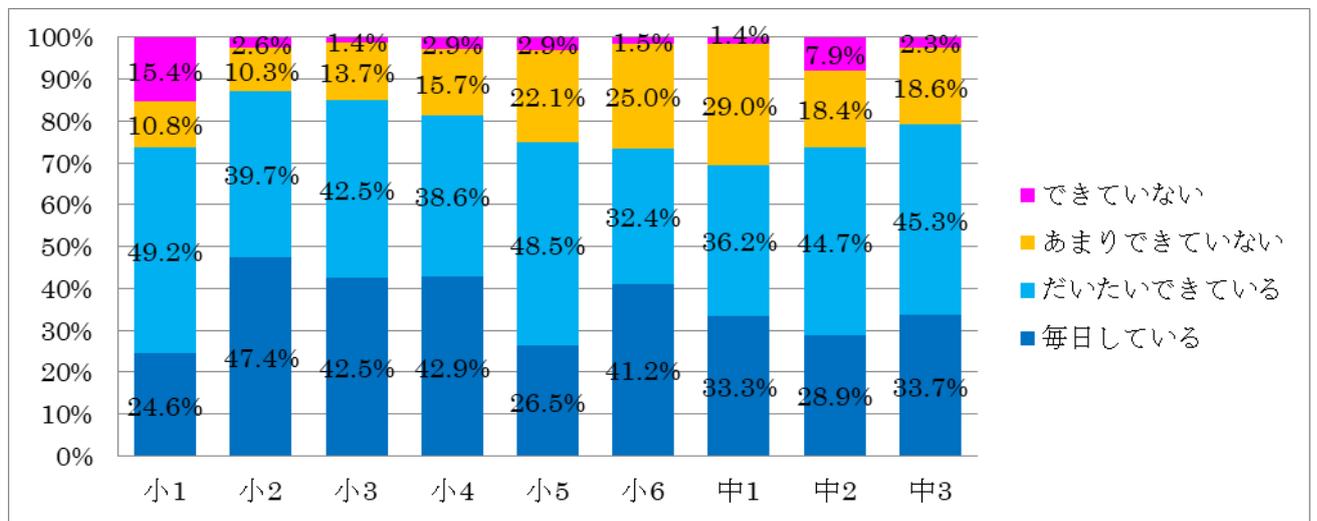
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
15分	20分	30分	40分	50分	60分	60分	90分	120分

4 家のお手伝いについて

① 自分のお手伝いの分担を決めていますか。



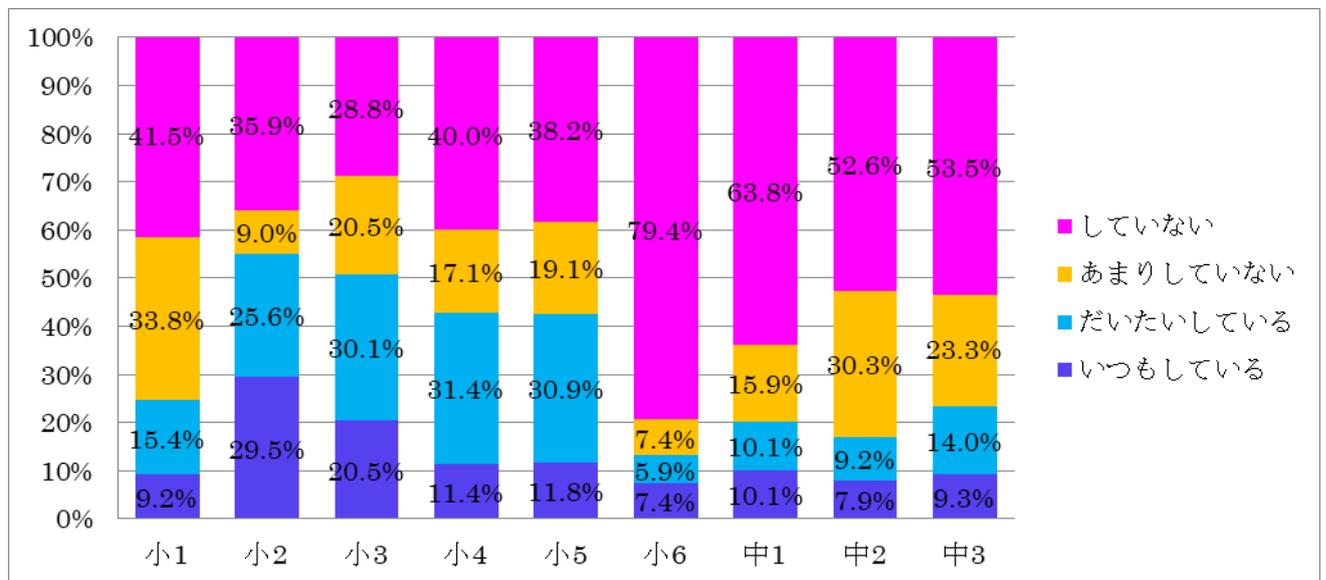
② 毎日、家のお手伝いをしていますか。



5 ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットについて

① 週に1回、ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットデーを作り、守っていますか。

(スマホやタブレットPCなどで動画を見る時間も含まれます。)



令和2年度越生町教育委員会事務局
点検評価報告書

令和3年8月

編集・発行

越生町教育委員会

埼玉県入間郡越生町大字越生 917 番地

電話 049-292-3121 (代)

Eメール kyouiku1@town.ogose.saitama.jp